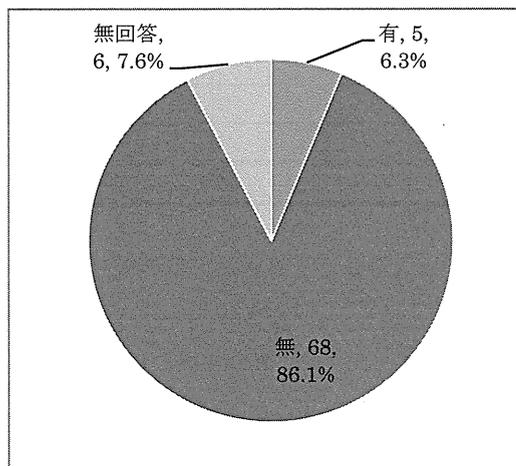


表 7 3 共同生活介護（ケアホーム）

	度数	パーセント
有	5	8.5%
無	40	67.8%
無回答	14	23.7%
合計	59	100.0%

図 7 3 共同生活介護（ケアホーム）



1 1) 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

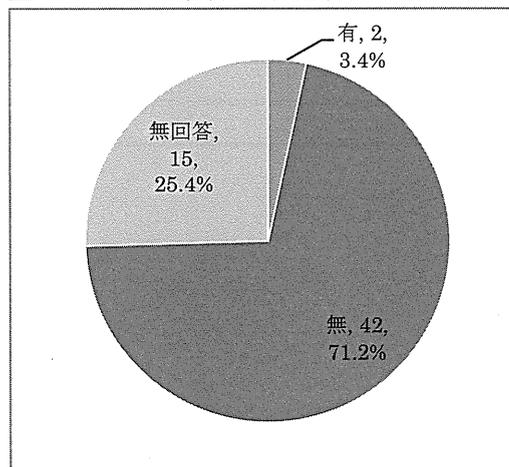
自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用について有りが2名（3.4%）、無しが42名（71.2%）であった。

このように、自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 7 4 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

	度数	パーセント
有	2	3.4%
無	42	71.2%
無回答	15	25.4%
合計	59	100.0%

図 7 4 自立訓練（機能訓練・生活訓練）



1 2) 就労移行支援

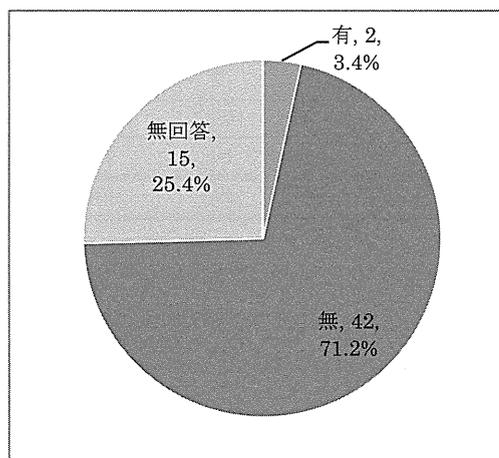
就労移行支援の利用について有りが2名（3.4%）、無しが42名（71.2%）であった。

このように、就労移行支援の利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 7 5 就労移行支援

	度数	パーセント
有	2	3.4%
無	42	71.2%
無回答	15	25.4%
合計	59	100.0%

図 7 5 就労移行支援



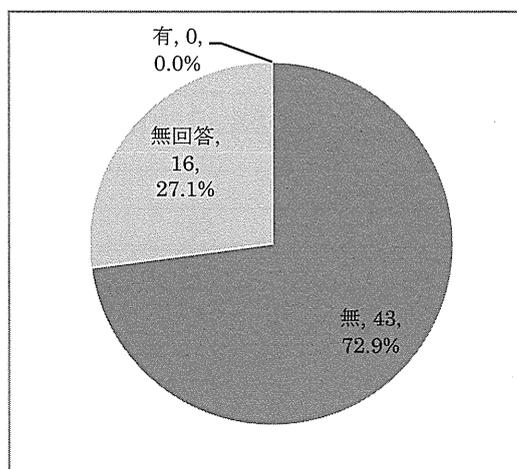
1 3) 就労継続支援 (A 型)

就労継続支援 (A 型) の利用について無しが 43 名 (72.9%) であった。
 このように、就労継続支援 (A 型) の利用は全くない状態にあった。

表 7 6 就労継続支援 (A 型)

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 7 6 就労継続支援 (A 型)



1 4) 就労継続支援 (B 型)

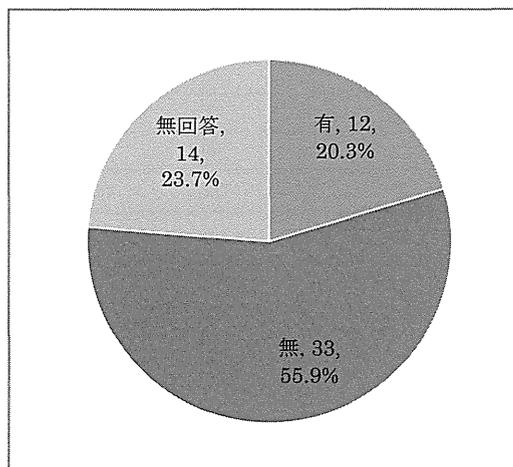
就労継続支援 (B 型) の利用について有りが 12 名 (20.3%)、無しが 33 名 (55.9%) であった。

このように、就労継続支援 (B 型) の利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 7 7 就労継続支援 (B 型)

	度数	パーセント
有	12	20.3%
無	33	55.9%
無回答	14	23.7%
合計	59	100.0%

図 7 7 就労継続支援 (B 型)



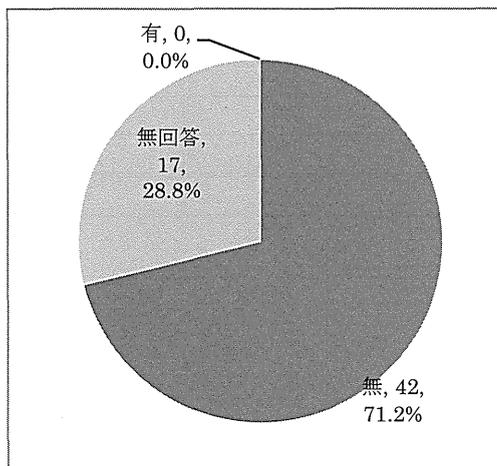
1 5) 共同生活援助 (グループホーム)

共同生活援助 (グループホーム) の利用について無しが 42 名 (71.2%) であった。
 このように、相談支援事業利用開始後に共同生活援助 (グループホーム) の利用は全くない状態にあった。

表 7 8 共同生活援助 (グループホーム)

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	42	71.2%
無回答	17	28.8%
合計	59	100.0%

図 7 8 共同生活援助 (グループホーム)



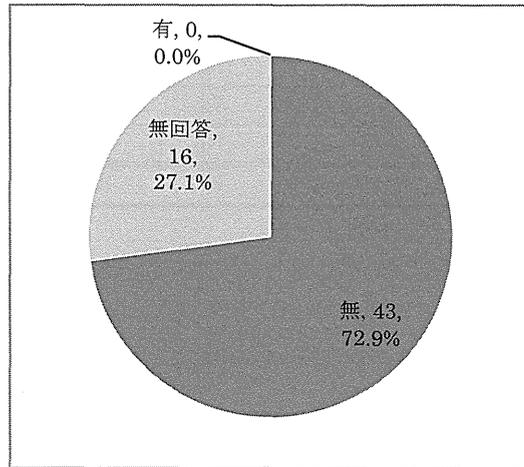
1 6) コミュニケーション支援事業

コミュニケーション支援事業の利用について無しが 43 名 (72.9%) であった。
 このように、コミュニケーション支援事業の利用は全くない状態にあった。

表 7 9 コミュニケーション支援事業

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 7 9 コミュニケーション支援事業



1 7) 日常生活用具給付等事業

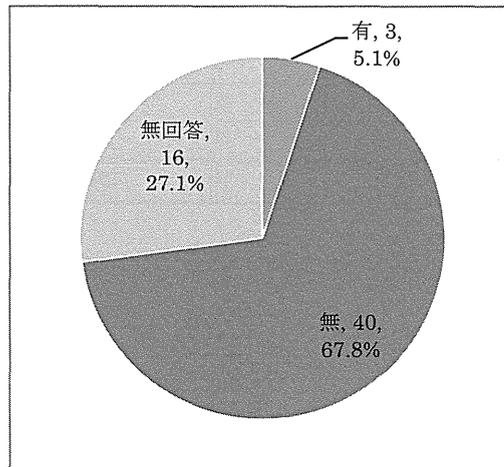
日常生活用具給付等事業の利用について有りが 3 名 (5.1%)、無しが 40 名 (67.8%) であった。

このように、日常生活用具給付等事業の利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 8 0 日常生活用具給付等事業

	度数	パーセント
有	3	5.1%
無	40	67.8%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 8 0 日常生活用具給付等事業



1 8) 移動支援事業

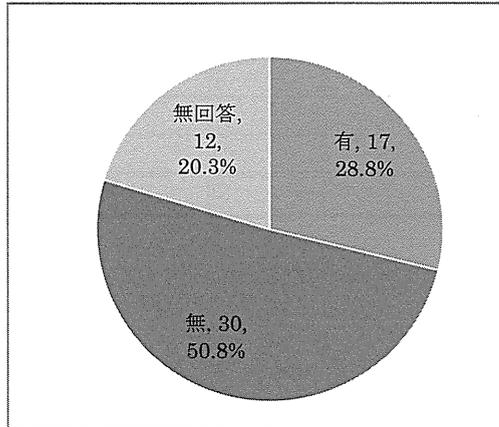
日常生活用具給付等事業の利用について有りが 17 名 (28.8%)、無しが 30 名 (50.8%) であった。

このように、日常生活用具給付等事業の利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 8 1 移動支援事業

	度数	パーセント
有	17	28.8%
無	30	50.8%
無回答	12	20.3%
合計	59	100.0%

図 8 1 移動支援事業



1 9) 地域活動支援センター

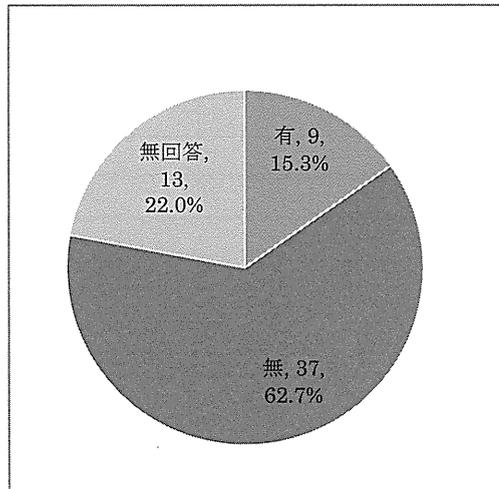
地域活動支援センターの利用について有りが 9 名 (15.3%)、無しが 37 名 (62.7%) であった。

このように、地域活動支援センターの利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 8 2 地域活動支援センター

	度数	パーセント
有	9	15.3%
無	37	62.7%
無回答	13	22.0%
合計	59	100.0%

図 8 2 地域活動支援センター



2 0) 福祉ホーム

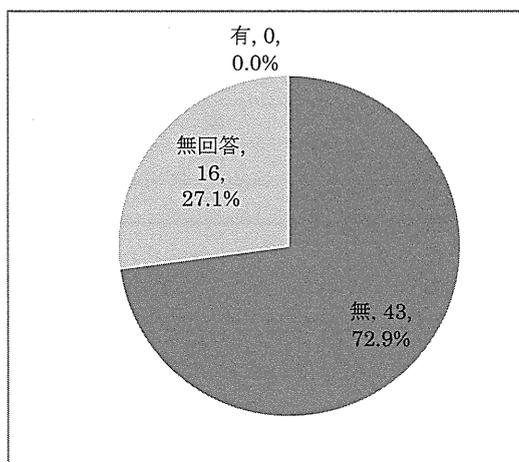
福祉ホームの利用について無しが 43 名 (72.9%) であった。

このように、福祉ホームの利用は全くない状態にあった。

表 8 3 福祉ホーム

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 8 3 福祉ホーム



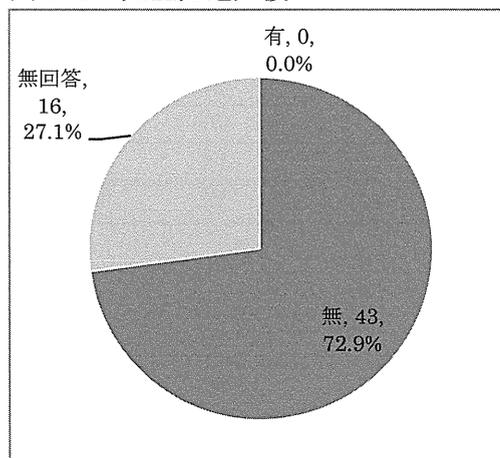
2 1) 児童発達支援

児童発達支援の利用について無しが 43 名 (72.9%) であった。
 このように、相児童発達支援の利用は全くない状態にあった。

表 8 4 児童発達支援

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 8 4 児童発達支援



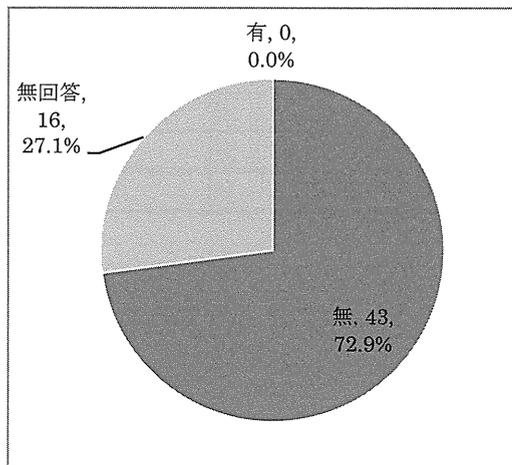
2 2) 医療型児童発達支援

医療型児童発達支援の利用について相無しが 43 名 (72.9%) であった。
 このように、医療型児童発達支援の利用は全くない状態にあった。

表 8 5 医療型児童発達支援

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 8 5 医療型児童発達支援



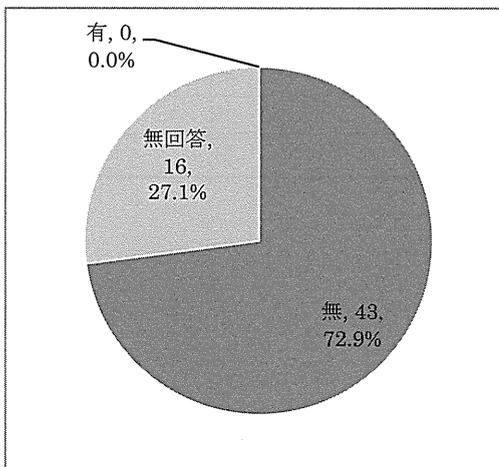
2 3) 放課後等デイサービス

放課後等デイサービスの利用について無しが 43 名 (72.9%) であった。
 このように、放課後等デイサービスの利用は全くない状態にあった。

表 8 6 放課後等デイサービス

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 8 6 放課後等デイサービス



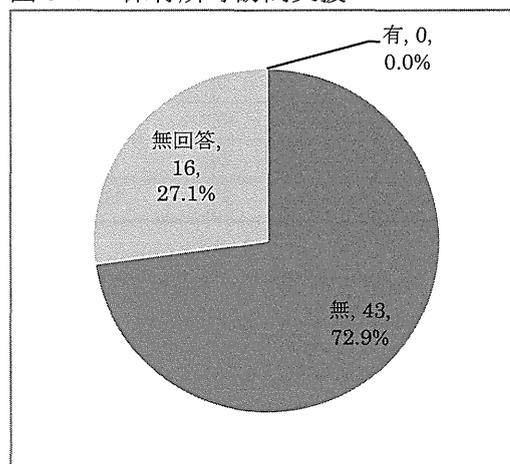
2 4) 保育所等訪問支援

保育所等訪問支援の利用について無しが 43 名 (72.9%) であった。
 このように、保育所等訪問支援の利用は全くない状態にあった。

表 8 7 保育所等訪問支援

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 8 7 保育所等訪問支援



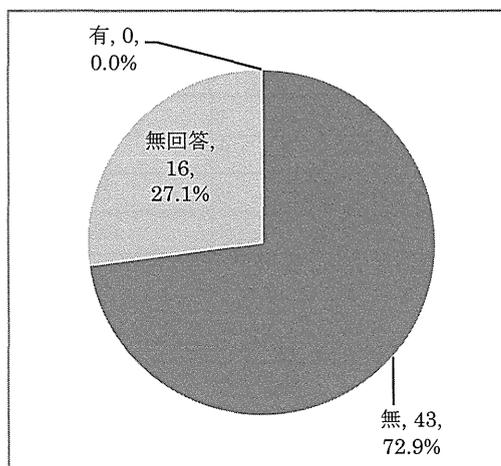
2 5) 福祉型障害児入所支援

福祉型障害児入所支援の利用について無しが 43 名 (72.9%) であった。
 このように、福祉型障害児入所支援の利用は全くない状態にあった。

表 8 8 福祉型障害児入所支援

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 8 8 福祉型障害児入所支援



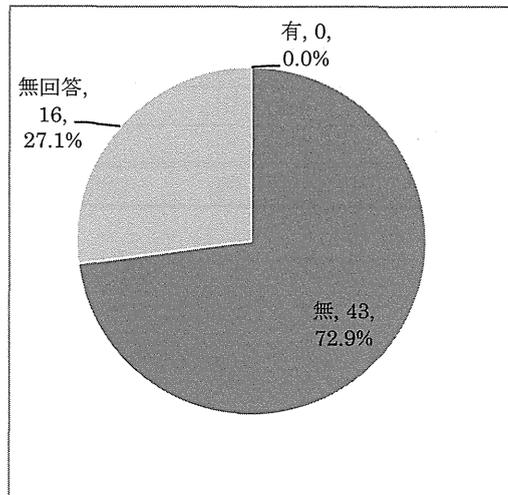
2 6) 医療型障害児入所支援

医療型障害児入所支援の利用について無しが 43 名 (72.9%) であった。
 このように、医療型障害児入所支援の利用は全くない状態にあった。

表 8 9 福祉型障害児入所支援

	度数	パーセント
有	0	0.0%
無	43	72.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 8 9 福祉型障害児入所支援



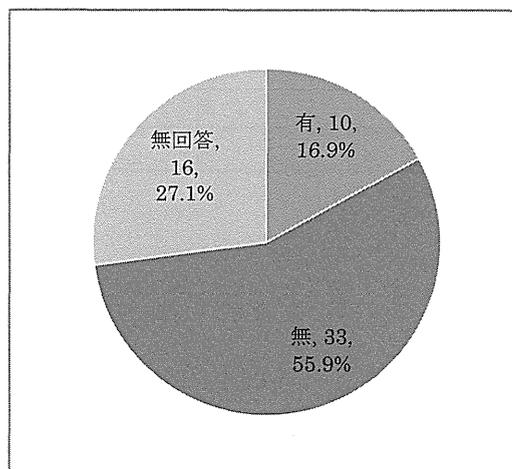
2 7) 補装具

補装具の利用について有りが 10 名 (16.9%)、無しが 33 名 (55.9%) であった。
 このように、補装具の利用は無しが多くの部分をおめていた。

表 9 0 補装具

	度数	パーセント
有	10	16.9%
無	33	55.9%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 9 0 補装具



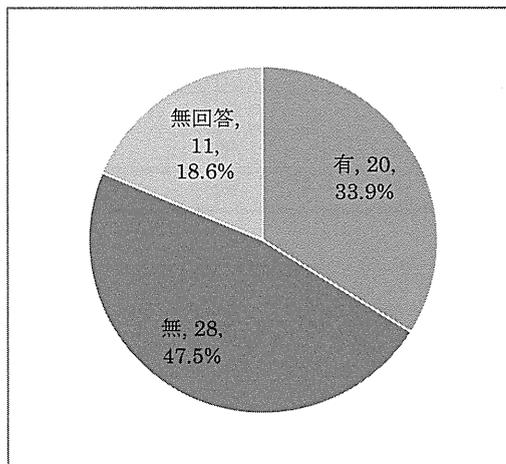
2 8) 自立支援医療

自立支援医療の利用について有りが 20 名 (33.9%)、無しが 28 名 (47.5%) であった。
 このように、自立支援医療の利用は無しが多くの部分をおめていた。

表 9 1 自立支援医療

	度数	パーセント
有	20	33.9%
無	28	47.5%
無回答	11	18.6%
合計	59	100.0%

図 9 1 自立支援医療



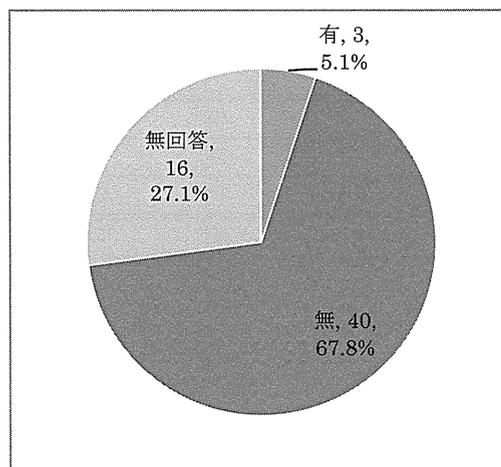
2 9) 住宅改修費の助成

住宅改修費の助成の利用について有りが 3 名 (5.1%)、無しが 40 名 (67.8%) であった。このように、住宅改修費の助成の利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 9 2 住宅改修費の助成

	度数	パーセント
有	3	5.1%
無	40	67.8%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 9 2 住宅改修費の助成



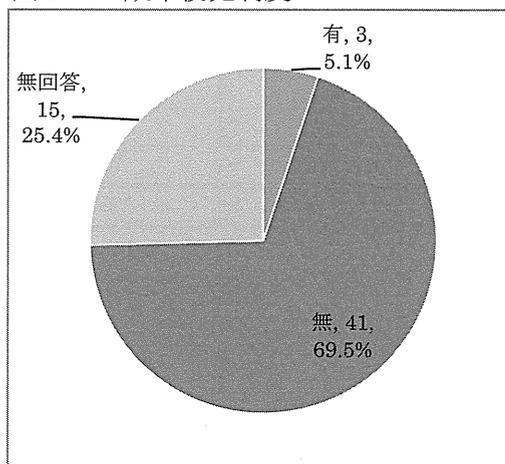
3 0) 成年後見制度

成年後見制度の利用について有りが 3 名 (5.1%)、無しが 41 名 (69.5%) であった。このように、成年後見制度の利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 9 3 成年後見制度助成

	度数	パーセント
有	3	5.1%
無	41	69.5%
無回答	15	25.4%
合計	59	100.0%

図 9 3 成年後見制度



3 1) 日常生活自立支援事業

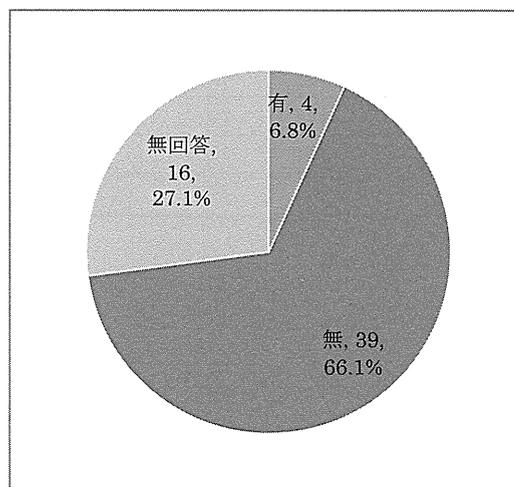
日常生活自立支援事業の利用について有りが4名(6.8%)、無しが39名(66.1%)であった。

このように、日常生活自立支援事業の利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 9 4 日常生活自立支援事業

	度数	パーセント
有	4	6.8%
無	39	66.1%
無回答	16	27.1%
合計	59	100.0%

図 9 4 日常生活自立支援事業



3 2) ピアサポートやセルフヘルプ

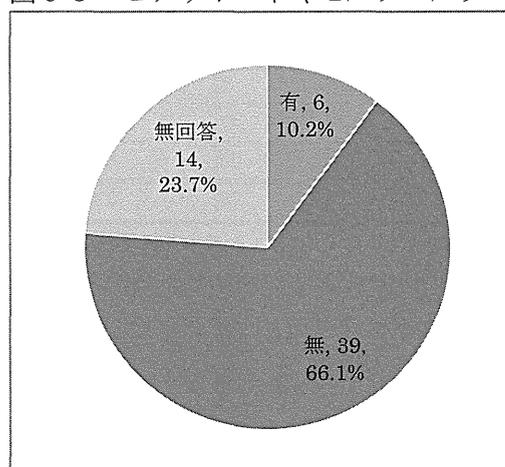
ピアサポートやセルフヘルプの利用について有りが6名(10.2%)、無しが39名(66.1%)であった。

このように、ピアサポートやセルフヘルプの利用は無しが多くの部分を占めていた。

表 9 5 ピアサポートやセルフヘルプ

	度数	パーセント
有	6	10.2%
無	39	66.1%
無回答	14	23.7%
合計	59	100.0%

図 9 5 ピアサポートやセルフヘルプ



3 3) 近隣等インフォーマルサービス

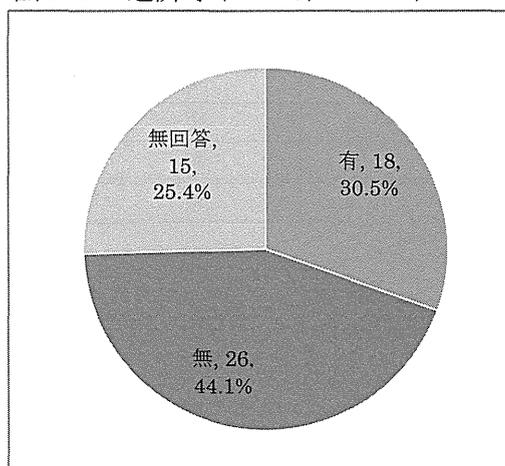
近隣等インフォーマルサービスの利用について有りが 18 名 (30.5%)、無しが 26 名 (44.1%) であった。

このように、近隣等インフォーマルサービスの利用は無しが多く部分を占めていた。

表 9 6 近隣等インフォーマルサービス

	度数	パーセント
有	18	30.5%
無	26	44.1%
無回答	15	25.4%
合計	59	100.0%

図 9 6 近隣等インフォーマルサービス



(1 4) 平成 24 年と平成 25 年の調査結果の比較

平成 24 年と平成 25 年の調査結果を比較するために、平成 24 年と平成 25 年の両方の相談支援専門員調査に回答があった相談支援専門員 55 名を対象に分析を行った。

その結果、利用者の状態については全体的に大きな変化が見られず、検定においても有意差が見られなかった。

また、地域生活に関する利用者の評価との一致度では、一致度がやや向上していると評価される傾向が見られたが、検定の結果有意差は見られなかった。

相談支援が利用者の評価に影響していると思うかでは、影響しているとは考えられないとされる傾向にあり、検定においても有意な低下が見られた。

地域で暮らす利用者の力については、あるとされる傾向にあったが、検定の結果有意差は見られなかった。

施設入所を考えているかについては、あまり変化がない傾向にあり、検定の結果も有意

差は見られなかった。

現在利用しているサービスの有無については、半数以上の項目で変化がないあるいはほとんど変化がない状況であったが、増加傾向にあるものや減少傾向にあるものも見られた。検定の結果、就労継続支援（B型）とピアサポートやセルフヘルプの項目において有意な増加が見られた。

1) 利用者の状態（単純集計）

利用者の状態について、平成24年と平成25年の調査結果を比較したところ、全体的にそれほど大きな変化は見られなかったが、いくつかの項目で改善傾向が見られることがわかった。

① ADL

i 身辺処理に関して

身辺処理に関して、平成24年調査ではひとりでできるが29名（52.7%）、見守り・指示があればできるが10名（18.2%）、少し手伝ってもらえばできるが8名（14.5%）、全部やってもらっているが8名（14.5%）であった。

一方、平成25年調査ではひとりでできるが26名（47.3%）、見守り・指示があればできるが11名（20.0%）、少し手伝ってもらえばできるが9名（16.4%）、全部やってもらっているが7名（12.7%）であった。

これらのことから、身辺処理について平成24年と平成25年の調査結果を比較すると、ひとりでできるとされる回答が減る傾向にあることがわかった。

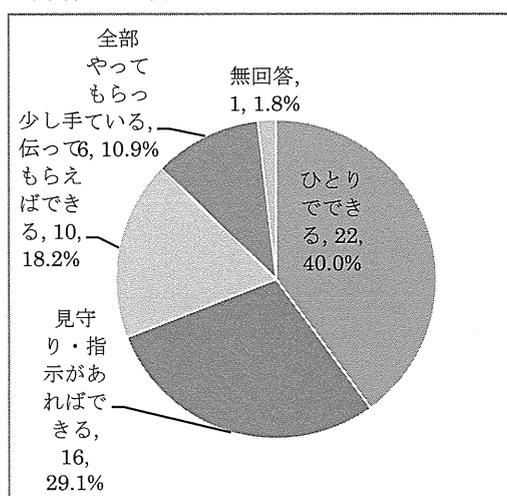
表97 身辺処理に関して
(平成24年)

	度数	パーセント
ひとりでできる	29	52.7%
見守り・指示があればできる	10	18.2%
少し手伝ってもらえばできる	8	14.5%
全部やってもらっている	8	14.5%
無回答	0	0.0%
合計	55	100.0%

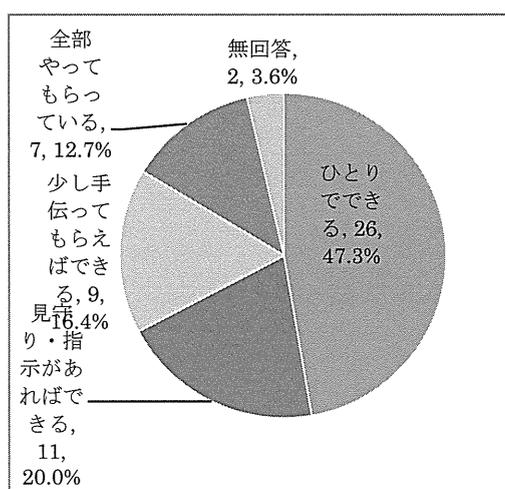
(平成25年)

	度数	パーセント
ひとりでできる	26	47.3%
見守り・指示があればできる	11	20.0%
少し手伝ってもらえばできる	9	16.4%
全部やってもらっている	7	12.7%
無回答	2	3.6%
合計	55	100.0%

図 9 7 身辺処理に関して
(平成 24 年)



(平成 25 年)



ii 食事に関して

食事に関して、平成 24 年調査ではひとりのできるが 29 名 (52.7%)、見守り・指示があればできるが 10 名 (18.2%)、少し手伝ってもらえればできるが 8 名 (14.5%)、全部やってもらっているが 8 名 (14.5%) であった。

一方、平成 25 年調査ではひとりのできるが 32 名 (58.2%)、見守り・指示があればできるが 9 名 (16.4%)、少し手伝ってもらえればできるが 8 名 (14.5%)、全部やってもらっているが 5 名 (9.1%) であった。

これらのことから、食事について平成 24 年と平成 25 年の調査結果を比較すると、ひとりのできるとされる回答が増える傾向にある反面、全部やってもらっているとされる回答が減る傾向にあることがわかった。

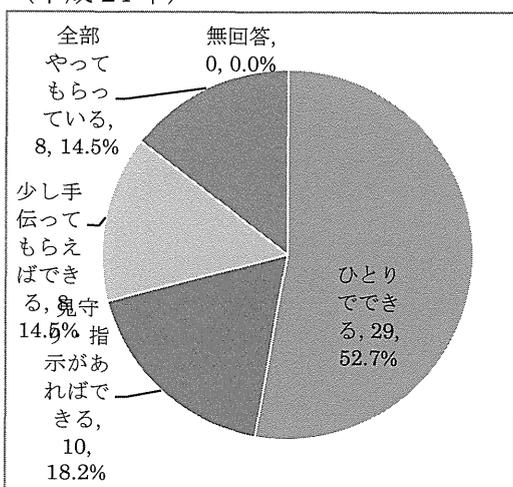
表 9 8 食事に関して
(平成 24 年)

	度数	パーセント
ひとりのできる	29	52.7%
見守り・指示があればできる	10	18.2%
少し手伝ってもらえればできる	8	14.5%
全部やってもらっている	8	14.5%
無回答	0	0.0%
合計	55	100.0%

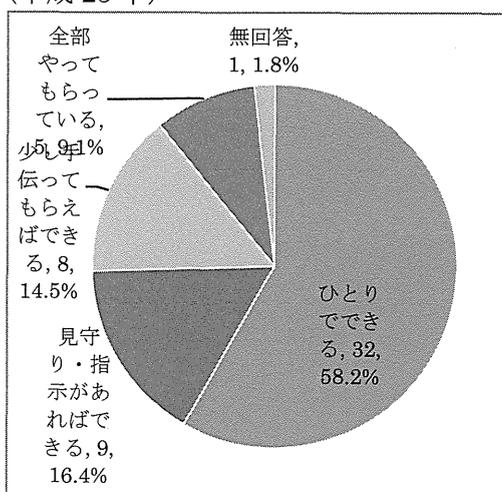
(平成 25 年)

	度数	パーセント
ひとりのできる	32	58.2%
見守り・指示があればできる	9	16.4%
少し手伝ってもらえればできる	8	14.5%
全部やってもらっている	5	9.1%
無回答	1	1.8%
合計	55	100.0%

図 9 8 食事に関して
(平成 24 年)



(平成 25 年)



iii 入浴に関して

入浴に関して、平成 24 年調査ではひとりのできるが 29 名 (52.7%)、見守り・指示があればできるが 15 名 (27.3%)、少し手伝ってもらえばできるが 4 名 (7.3%)、全部やってもらっているが 7 名 (12.7%) であった。

一方、平成 25 年調査ではひとりのできるが 29 名 (52.7%)、見守り・指示があればできるが 13 名 (23.6%)、少し手伝ってもらえばできるが 6 名 (10.9%)、全部やってもらっているが 6 名 (10.9%) であった。

これらのことから、入浴について平成 24 年と平成 25 年の調査結果を比較すると、ほとんど変化がない傾向にあることがわかった。

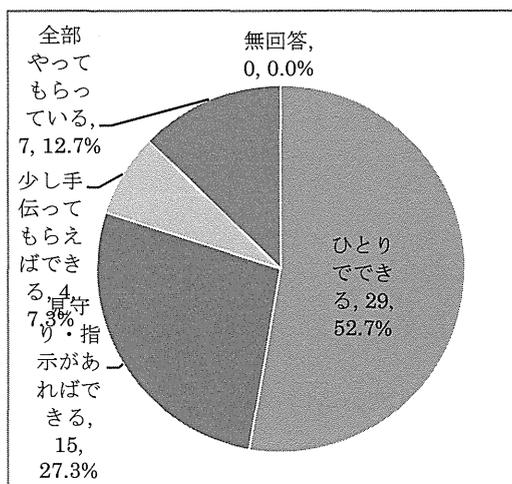
表 9 9 入浴に関して
(平成 24 年)

	度数	パーセント
ひとりのできる	29	52.7%
見守り・指示があればできる	15	27.3%
少し手伝ってもらえばできる	4	7.3%
全部やってもらっている	7	12.7%
無回答	0	0.0%
合計	55	100.0%

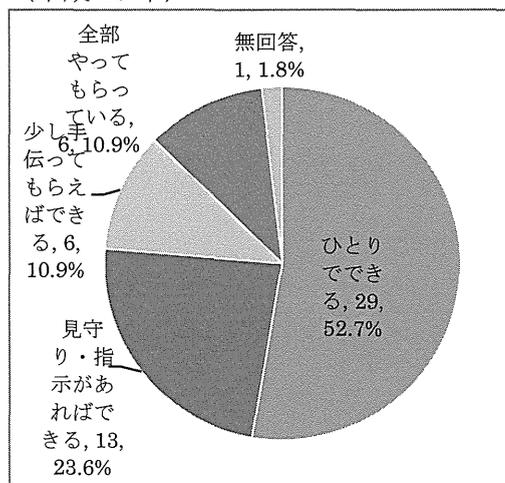
(平成 25 年)

	度数	パーセント
ひとりのできる	29	52.7%
見守り・指示があればできる	13	23.6%
少し手伝ってもらえばできる	6	10.9%
全部やってもらっている	6	10.9%
無回答	1	1.8%
合計	55	100.0%

図 9 9 入浴に関して
(平成 24 年)



(平成 25 年)



iv 排泄に関して

排泄に関して、平成 24 年調査ではひとりのできるが 41 名 (74.5%)、見守り・指示があればできるが 6 名 (10.9%)、少し手伝ってもらえばできるが 3 名 (5.5%)、全部やってもらっているが 4 名 (7.3%) であった。

一方、平成 25 年調査ではひとりのできるが 40 名 (72.7%)、見守り・指示があればできるが 8 名 (14.5%)、少し手伝ってもらえばできるが 2 名 (3.6%)、全部やってもらっているが 4 名 (7.3%) であった。

これらのことから、排泄について平成 24 年と平成 25 年の調査結果を比較すると、ほとんど変化がない傾向にあることがわかった。

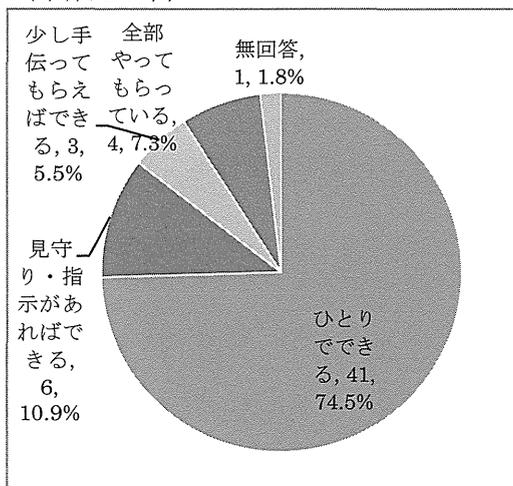
表 1 0 0 排泄に関して
(平成 24 年)

	度数	パーセント
ひとりのできる	41	74.5%
見守り・指示があればできる	6	10.9%
少し手伝ってもらえばできる	3	5.5%
全部やってもらっている	4	7.3%
無回答	1	1.8%
合計	55	100.0%

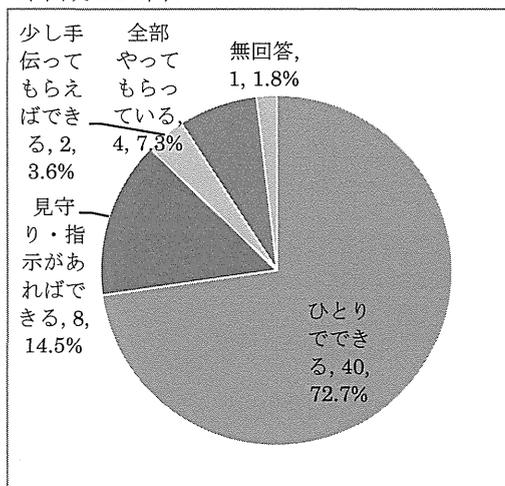
(平成 25 年)

	度数	パーセント
ひとりのできる	40	72.7%
見守り・指示があればできる	8	14.5%
少し手伝ってもらえばできる	2	3.6%
全部やってもらっている	4	7.3%
無回答	1	1.8%
合計	55	100.0%

図100 排泄に関して
(平成24年)



(平成25年)



v 家事に関して

家事に関して、平成24年調査ではひとりのできるが8名(14.5%)、見守り・指示があればできるが13名(23.6%)、少し手伝ってもらえらばできるが16名(29.1%)、全部やっもらっているが17名(30.9%)であった。

一方、平成25年調査ではひとりのできるが11名(20.0%)、見守り・指示があればできるが9名(16.4%)、少し手伝ってもらえらばできるが18名(32.7%)、全部やっもらっているが16名(29.1%)であった。

これらのことから、家事について平成24年と平成25年の調査結果を比較すると、ひとりのできるとされる回答が増える傾向にある反面、見守り・指示があればできるとされる回答が減る傾向にあることがわかった。

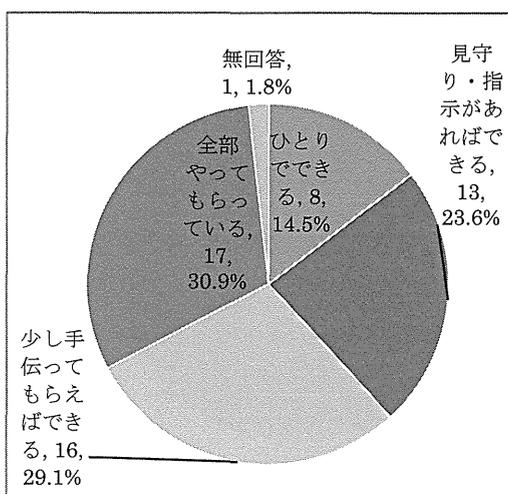
表101 家事に関して
(平成24年)

	度数	パーセント
ひとりできる	8	14.5%
見守り・指示があればできる	13	23.6%
少し手伝ってもらえらばできる	16	29.1%
全部やっもらっている	17	30.9%
無回答	1	1.8%
合計	55	100.0%

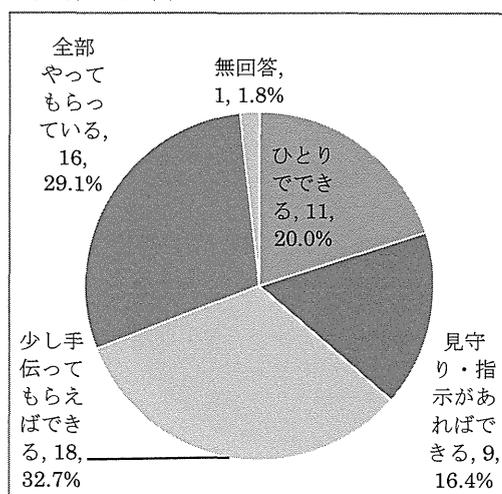
(平成25年)

	度数	パーセント
ひとりできる	11	20.0%
見守り・指示があればできる	9	16.4%
少し手伝ってもらえらばできる	18	32.7%
全部やっもらっている	16	29.1%
無回答	1	1.8%
合計	55	100.0%

図101 家事に関して
(平成24年)



(平成25年)



② 心理・精神面

vi 生きがい・希望・好きなこと

生きがい・希望・好きなことに関して、平成24年調査では多くあるが9名(16.4%)、少ないがあるが41名(74.5%)、ほとんどないが3名(5.5%)、ないが2名(3.6%)であった。

一方、平成25年調査では多くあるが12名(21.8%)、少ないがあるが36名(65.5%)、ほとんどないが5名(9.1%)であった。

これらのことから、生きがい・希望・好きなことについて平成24年と平成25年の調査結果を比較すると、多くあるとされる回答が増える傾向にある反面、少ないがあるとされる回答が減る傾向にあることがわかった。

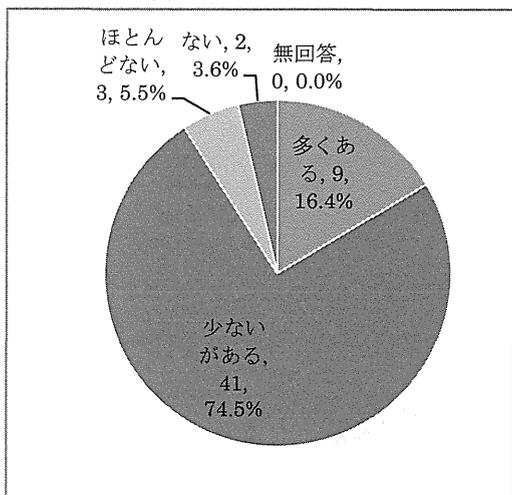
表102 生きがい・希望・好きなこと
(平成24年)

	度数	パーセント
多くある	9	16.4%
少ないがある	41	74.5%
ほとんどない	3	5.5%
ない	2	3.6%
無回答	0	0.0%
合計	55	100.0%

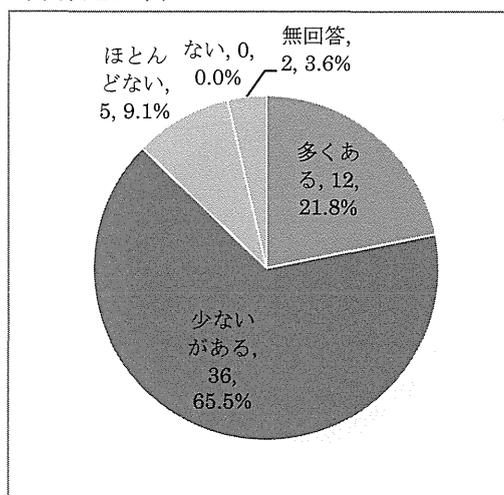
(平成25年)

	度数	パーセント
多くある	12	21.8%
少ないがある	36	65.5%
ほとんどない	5	9.1%
ない	0	0.0%
無回答	2	3.6%
合計	55	100.0%

図 1 0 2 生きがい・希望・好きなこと
(平成 24 年)



(平成 25 年)



vii 精神面の安定

精神面の安定に関して、平成 24 年調査では非常に安定しているが 5 名 (9.1%)、少し安定しているが 38 名 (69.1%)、あまり安定していないが 12 名 (21.8%) であった。

一方、平成 25 年調査では非常に安定しているが 9 名 (16.4%)、少し安定しているが 33 名 (60.0%)、あまり安定していないが 9 名 (16.4%)、安定していないが 3 名 (5.5%) であった。

これらのことから、精神面の安定について平成 24 年と平成 25 年の調査結果を比較すると、非常に安定しているとされる回答が増える傾向にある反面、安定していないとされる回答も増える傾向にあることがわかった。

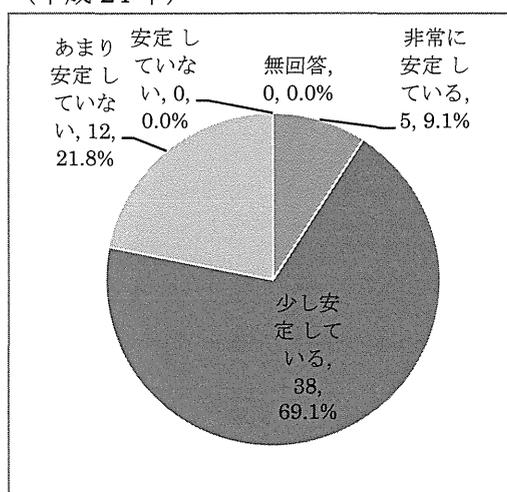
表 1 0 3 精神面の安定
(平成 24 年)

	度数	パーセント
非常に安定している	5	9.1%
少し安定している	38	69.1%
あまり安定していない	12	21.8%
安定していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	55	100.0%

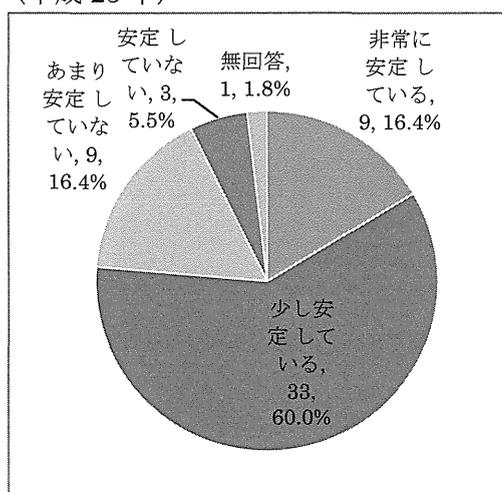
(平成 25 年)

	度数	パーセント
非常に安定している	9	16.4%
少し安定している	33	60.0%
あまり安定していない	9	16.4%
安定していない	3	5.5%
無回答	1	1.8%
合計	55	100.0%

図103 精神面の安定
(平成24年)



(平成25年)



③ 周囲との関係面

viii 日中活動での人間関係

日中活動での人間関係に関して、平成24年調査では多いが14名(25.5%)、少ないが29名(52.7%)、ほとんどないが10名(18.2%)、ないが2名(3.6%)であった。

一方、平成25年調査では多いが15名(27.3%)、少ないが29名(52.7%)、ほとんどないが9名(16.4%)、ないが1名(1.8%)であった。

これらのことから、日中活動での人間関係について平成24年と平成25年の調査結果を比較すると、ほとんど変化がない傾向にあることがわかった。

表104 日中活動での人間関係
(平成24年)

	度数	パーセント
多い	14	25.5%
少ない	29	52.7%
ほとんどない	10	18.2%
ない	2	3.6%
無回答	0	0.0%
合計	55	100.0%

(平成25年)

	度数	パーセント
多い	15	27.3%
少ない	29	52.7%
ほとんどない	9	16.4%
ない	1	1.8%
無回答	1	1.8%
合計	55	100.0%